

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和元年12月定例会

秋田市教育委員会令和元年12月定例会会議録

- 1 日 時 令和元年12月26日(木)  
午後3時30分～午後4時35分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
学校適正配置推進室長  
総務課長  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
学校適正配置推進室参事  
生涯学習室長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学校教育課長補佐  
生涯学習室長補佐  
生涯学習室副参事  
総務課主席主査  
総務課主席主査  
教職員室主席主査  
教育研究所主席主査  
教職員室主査  
総務課主任  
総務課主事

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第20号 秋田市教育委員会公告式規則の一部を改正する件

### 【協議事項】

(1) 令和元年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

(2) 令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について

### 【教育長等の報告】

(1) 令和元年11月市議会定例会の審議状況について

(2) 令和元年度「新成人のつどい」の警備について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【欠席の報告】

教育長が委員から定例会を欠席する旨の届出があったことについて報告した。

### 【令和元年11月定例会会議録の承認】

令和元年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【付議案件】

議案第20号 秋田市教育委員会公告式規則の一部を改正する件

教育長 議案第20号「秋田市教育委員会公告式規則の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)

委員 金足地域センターが廃止され、コミュニティセンターになるとのことだが、地域センターとコミュニティセンターの違いは何か。

総務課長

地域センターは、市役所の窓口として、行政に関する相談の受付や市の一般事務等を行う。市職員が配置され、開館時間も本庁舎と同じ時間帯である。

コミュニティセンターは、地域の自治活動の拠点として広く市民に利用されており、地域の方が中心となって運営しているため、土曜日や日曜日、祝日も開館している。

この度、金足地域センターを廃止しコミュニティセンターとするのは、地域センターの機能が既に各地区の市民サービスセンターに集約されたためである。

また、コミュニティセンターとすることにより、地域づくりのための住民参加を促進することができるというメリットもある。

※ 議案第20号については、全員賛成により、議決された。

#### 【協議事項】

##### (1) 令和元年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長

協議事項(1)「令和元年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について」、事務局から説明願う。

教職員室長

(資料に基づき説明)

委員

今年度の学校訪問では、秋田公立美術大学の見学を含め計18か所を訪問した。教職員のレベルの高さや努力が、至る所で見られたように感じる。

特に、道徳の授業では、小・中学校ともに、手探りながらも授業や教材に工夫が見られ、児童生徒も本音で意見や考えを述べており、生きた授業であったと思う。

プログラミング教育については、保護者の捉え方が様々で、授業で扱う内容についても曖昧であるように感じる。PTA総会や学級・学年懇談会などを通して、保護者にもプログラミング教育について理解を深めてもらう必要があるのではないか。まだ整備途中ではあると思うが、電子黒板やタブレットなどのICT機器を有効に使い、今後の授業を組み立ててほしい。市内の学校で情報を共有し、どの

学校に勤務しても一定レベルの授業を行えるような仕組み作りも必要ではないか。

コミュニティ・スクールについては、各校とも、これまで地域との関わりを大事にしてきたこともあり、非常に良好に運営されていると思う。今後は、地域の代表や保護者だけでなく、地域の住民にもコミュニティ・スクールについてよく説明し、学校運営への理解を深めてもらう機会があっても良いのではないか。

国から働き方改革の方針が示されたが、今年ほど教職員の勤務実態が注目された年はないと思う。市役所や民間企業はもちろんだが、学校現場についても、定時で仕事が終われるような工夫や努力をすべきであり、社会全体で働き方を変えていく雰囲気作りや理解の促進が必要だと感じた。一方で、学校に対し、保護者や地域住民からの期待は非常に大きく、単に「教科を学ぶ場」というだけでなく、「社会教育や生涯学習の場」として期待する人も多いただろう。教育の質を維持することも大切であるが、教員の負担になりすぎないように、柔軟に地域の要望に応えていただきたい。

最後に、教員の頑張りに感謝したい。来年もよろしく願います。

教育長                    プログラミング教育について、保護者に周知するために、何か取り組んでいるのか。

学校教育課長          昨日、小学校の管理職、情報主任、教務主任等を集め、来年度の新学習指導要領の全面実施に向けた説明会を開催し、プログラミング教育について説明した。来年度から教員が最低限何をどのように行っていけば良いかをまとめたリーフレットを配り、全ての学校で実施したいことについて具体的に示したところである。

今後、秋田市小学校長会も開催されるので、その際に、保護者にもリーフレットを提供するよう呼びかけ、周知を図っていきたい。

教育長                    リーフレットは、秋田市教育委員会のホームページにも掲載するのか。

学校教育課長          現在は、ホームページには掲載していないが、全ての教

員が見ることのできる共有フォルダの中に、リーフレットの内容に対応した学習指導案と基本プログラムの例を保存している。

教育長 先ほど、働き方改革についても話題が挙がったが、委員からも話があったとおり、社会全体で考え方を変えていく必要があると思う。一方で、地域の要望にどのように対応していくかも大きな課題であると感じている。秋田市PTA連合会とも、同様の内容で協議をしているところである。教員の働き方に関する課題については、今後どのように対応していくか。

教職員室長 教員の多忙化防止については、今年度の春に、教育委員会から小・中学校に多忙化防止計画を配布し、その計画をもとに、実態に応じ、各校で多忙化防止対策を9月末までに作成して、対策に取り組んでもらっている。また、保護者や地域の方の理解も必要だと考えており、各校の取組等を記載したリーフレットを作成中である。秋田市PTA連合会や秋田市小・中学校長会等で協議した後、今年度末までには各校や地域の方に周知したいと考えている。

教育次長 働き方改革の名のもとに、学校が、業務を一方向的に削減してはいけない。「今まで行ってきたことはどれも大事だが、特に大事なものに時間をかけたい。その代わりに、一部のものについては効率化を図る」という考え方でなければ、保護者も納得しないだろう。

そのため、コミュニティ・スクールの協議会において、働き方改革についての方針を話題にするなどして、地域の方や保護者に学校の方針を理解してもらう必要がある。教員の多忙化防止はまだ始まったばかりであるので、先ほどのリーフレットも使いながら周知に努めていかなければならないと感じている。

委員 様々な学校を訪問し、教員に求められることが年々増えていることが分かった。その中で、働き方改革についても考慮しなければならず、細かい部分まで苦勞している教員の姿があった。抜本的な解決策はないものかと思った。

10月にドイツのパスサウ市に行った際、同行した人か

らドイツの小学校の写真を見せてもらったところ、教室が綺麗であった。様々なことがシンプルで機能的であることは、業務の時間短縮にもつながると思う。ドイツと比べると、日本の教室は、整理がされていないように感じる。教員の努力の積み重ねが教室に表れていることは理解しているが、その反面、しなければならないことが多い印象も受ける。予算の問題もあるが、何か職場環境を機能的に整えることができるものを導入できないかと思った。

## 委員

学校訪問では、校長と直接話が出来たり、様々な教員の具体的な話を聞くことが出来たり、子どもたちの表情や空気感を感じたり出来る有意義な活動であった。7月から11月までという、学校が盛り上がる時期に訪問できることは好ましいことである。学校の予定を優先しながら、この先もこのような日程であれば大変良いと思う。

印象に残ったのは、若い教員が自信を持ち、元気があるということであった。懇談会で、管理職の教員の話聞いたが、各校とも、教員の役割分担ができていたと感じた。若い教員も、研修で教育相談についての指導を受けた成果が出ており、教育相談に臆さずに取り組んでいると感じた。

「懇談における話題」において、「教科の指導方法」についての話題が昨年よりもかなり増加しており、教員の授業に対する姿勢がより積極的になったように感じる。子どもたちも、自らの成長を望んでいる姿があった。研修の成果もあり、どの学校でも、新学習指導要領の趣旨を踏まえた見方や考え方が取り入れられていると思う。

多忙化防止については、教員一人ひとりが努力しているという話を聞いた。会議は、資料を事前に渡し短時間で終わられるようにしたり、児童生徒の提出物や作品について、教員がコメントを書くものを絞ったりと、多忙化防止を意識した取組が見られた。また、どの学校からも、学校司書や学級生活支援サポーター等の専門職が役立っていると話があった。学校は、今や様々な専門職の人と共に仕事をしていく時代である。本市では、学級生活支援サポーターを増やしており、学校図書館も充実させている。是非、継続

していただきたい。

秋田公立美術大学については、行かなければわからなかった部分もあり、訪問することが出来て良かった。同大学の良さが小・中学生にも伝わればと思う。

教育長 今後も教員の世代交代が続くと思われるが、それに向けて何か取組をしているか。

教育研究所長 世代交代を見据え、若手教員の育成や初任者研修に力を入れている。具体的には、研修の際、熟練した教員や中堅教員が若手教員にアドバイスをしたり、若手教員からの質問に答えたりする機会を設けている。

委員 中堅教員も、若手教員を指導することによって何か気づくことがあるのではないか。

教育長 若手教員が増えると、その分、研修業務も増え、学校によっては大変になることもある。しかし、研修で指導する側が、教えることを通して学び直すなど、若手教員の研修を活かし、教員の意識を向上させ、学校の活性化につなげることができる。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

## (2) 令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について

教育長 協議事項(2)「令和2年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

教育長 「3(2) 本体調査を補完する調査」は、全国学力・学習状況調査とは別の調査なのか。

教育研究所長 本体調査を補完する調査は、経年で学力が変化しているか、また、保護者の意識が結果にどの程度影響しているかについての調査であり、全国学力・学習状況調査と併せて行うものである。

教育長 経年変化分析調査の目的の中に「同一問題による経年比較」とあるが、どういう意味か。

教育研究所長 経年変化分析調査は今回で3度目であり、過去2回と同

じ問題を出題し、結果に違いがあったか比較するという意味である。

- 委員 保護者に対する調査はどのような内容か。
- 教育研究所長 年収や職業、家族構成等についての調査であり、個人情報に踏み込んだ内容もあるため、調査結果が外に漏れることのないよう、厳封の上学校に出してもらい、そのまま文部科学省に郵送する形で実施している。
- 委員 保護者の年収と子どもの学力の関係性が、結果として公表されることはあるのか。
- 教育研究所長 保護者に対する調査は過去2回行われ、公表されている。
- 委員 以前、日本PTA全国協議会が行ったアンケートで「子どもに見せたくない番組」という項目があり、その調査結果が全国的にメディアで取り上げられたことがあった。意図しないところでメディアに取り上げられることのないように配慮してほしい。
- 教育研究所長 保護者の年収だけでなく、子どもの忍耐力や社会性、自信等の影響力についても結果が公表されるため、アンケート結果が公表された際は、このような非認知スキルの結果も含めながら、学校に知らせていきたいと考えている。

※ 協議事項(2)については、以上のとおり終了した。

## 【教育長等の報告】

### (1) 令和元年11月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和元年11月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 はじめに、一般会計補正予算案と学校給食費会計補正予算案についてである。

一般会計補正予算案は、小・中学校の外壁等の改修を行う施設等改修経費や、小・中学校のトイレを改修し機能改善を図り洋式化するトイレ環境改善事業のほか、雄和小学校のスクールバスの運行委託や施設の維持管理業務などについて、来年度当初からの業務を円滑に執行するために設

定した債務負担行為に関するものである。学校給食費会計補正予算案は、給食費の増額改定に伴い、物資安定供給業務委託の債務負担行為の増額補正を行うものである。

どちらの補正予算案も、12月10日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議された。一般会計補正予算案については、小・中学校のトイレの洋式化率の現状と今後の見通しについて質疑があり、学校給食費会計補正予算案については、給食費改定の理由や改定額の考え方について質疑があった。

その後、12月18日に行われた本会議において、いずれも原案どおり可決された。

また、12月10日の教育産業委員会では、「秋田市における学校給食異物混入対策について」「学校適正配置に関する第2回地域ブロック協議会の開催状況等について」「『成人のつどい』のあり方の検討について」「土崎図書館に対する不審電話事案への対応について」の4件について報告した。

「秋田市における学校給食異物混入対策について」に対しては、職員への啓発が重要であるなどの意見があった。

「学校適正配置に関する第2回地域ブロック協議会の開催状況等について」に対しては、地域との協議を丁寧に続けてほしいなどの意見が出た。「『成人のつどい』のあり方の検討について」では、当事者への意識調査結果における中学生と高校生の回答傾向の違いについて質疑があった。

「土崎図書館に対する不審電話事案への対応について」では、実施した対策のうち電話機器のセキュリティー機能の詳細などについて質疑があった。

委員 土崎図書館に対する不審電話事案については、その後、何か動きはあったのか。

総務課長 11月16日（土）の不審電話以降、特に事案は発生していない。

教育長 同館の特別整理期間明けである12月3日から通常通り開館をしている。

※ 令和元年11月市議会定例会の審議状況については、以上のとおり終了した。

(2) 令和元年度「新成人のつどい」の警備について

- 教育長 報告(2)「令和元年度『新成人のつどい』の警備について」、事務局から説明願う。
- 生涯学習室長 (資料に基づき説明)
- 委員 新成人用のパンフレットについて、男女で色分けをして配布し、人数を確認していた気がするが、今年も同様か。
- 生涯学習室長 平成30年度から、色を統一している。
- 委員 男女で色分けして人数を確認する必要はないと思っていたため、統一して良いと思った。
- 教育長 今回から、警察が対応する基準が明確化した。新成人が「主催者・来賓入退場の動線図」に記載の白線を越えた場合は、威力業務妨害に当たるのではないかという警察からの意見があり、その場合、横で待機している警察が押さえに出る。市職員に暴力行為があった場合、警察が暴行として取り押さえる。
- 委員 2階の一般席の警備状況はどうか。
- 生涯学習室長 昨年よりも警備の人数を増員している。
- 教育長 2階の警備の人数は何人か。
- 生涯学習室長 昨年よりも6人増加し、計16人で警備を行う。
- 教育長 例年、遅めに来場した新成人が、1階に着席できずに2階に上がるため混雑するので、しっかりと警備してほしい。
- 委員 新成人のつどいのため、市職員113人が休日に出勤することを新成人は理解してほしい。配置人数の増員や警察が動く基準の明確化は、トラブルの未然防止につながると思う。気持ちの良い新成人のつどいになってほしい。

※ 令和元年度「新成人のつどい」の警備については、以上のとおり終了した。

## 【その他、教育委員から】

- 委員 秋田県のホームページに、インフルエンザの罹患状況が掲載されていた。本市の児童生徒のインフルエンザの罹患状況や対策を教えてほしい。
- 学事課長 12月23日から12月25日までで、小学校で66人が罹患したと報告があった。今年の4月から12月までの総数では、小学校で309人、中学校で4人、計313人となっている。
- 教育長 先々週頃から、学級閉鎖や学年閉鎖の報告もあるが、状況はどうか。
- 学事課長 中通小学校、広面小学校、下新城小学校および仁井田小学校の計4校から学級閉鎖や学年閉鎖の報告があった。
- 委員 学校訪問の際には、濡れたタオルをストーブの前に置くなど、対策がなされている様子であった。今年は比較的暖かいが、これからインフルエンザが増える可能性もあるため、冬期休業日明けも十分な対策を取ってほしい。
- 学校教育課長 手洗いやうがい、加湿、換気、マスク着用等の呼びかけに努めていきたい。
- 委員 インフルエンザに罹患した場合は、人との接触を避けるよう、体調が悪化したら積極的に休みを取るよう指導してほしい。
- 別件となるが、先日、「こども六法」という本を読んだ。子どものいじめ防止に有効と思うので、各学校に置いてはどうだろうか。
- 学校教育課長 図書の整備については、各校において選書しており、この場で申し上げることは出来ないが、「こども六法」の著者に来年度のいじめ防止講演会の講師を依頼しようと検討しているところである。

## 【その他、今後の日程についての報告】

- 総務課長補佐 1月定例会の日程についてお知らせする。定例会は、原則毎月第4木曜日としているが、1月定例会については、教育長が他の公務と重なる可能性があることから日程を調整中である。日程が決定次第、お知らせする。

教育長                    日程が決定次第、連絡をお願いする。委員の皆様、よろ  
しく願います。

午後4時35分閉会

